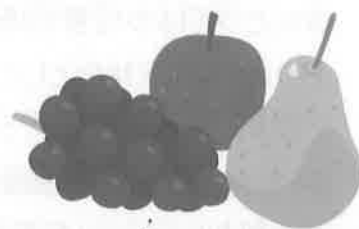


交通安全だより

平成28年9月

第185号

秋の交通安全 市民運動実施!!



平成28年9月21日(水)～9月30日(金)

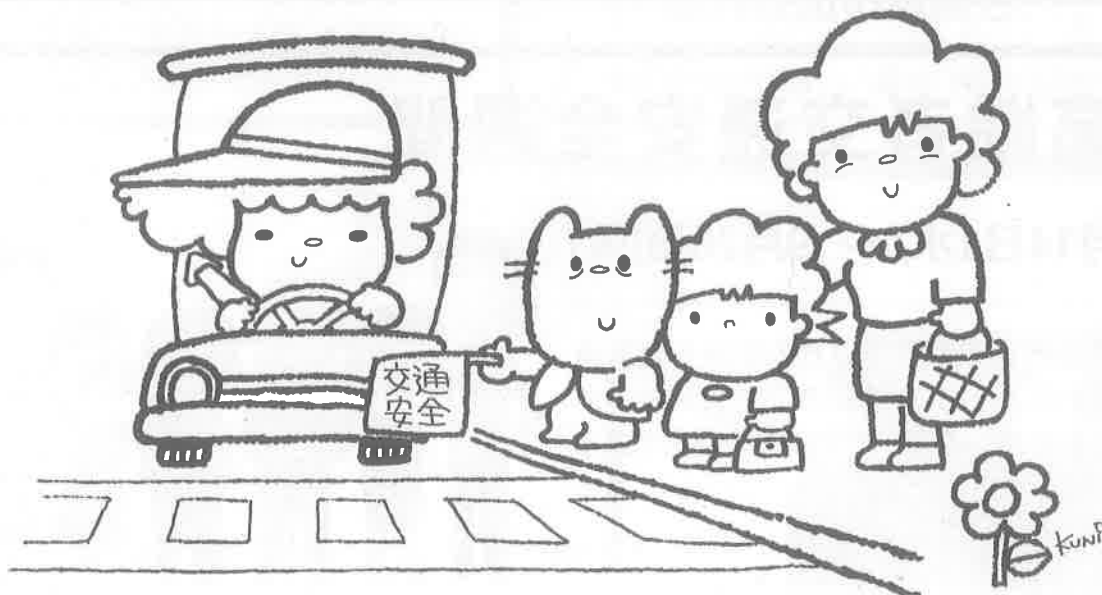
重点

1 運動の基本

- 子どもと高齢者を交通事故から守ろう

2 取組重点

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう



秋の交通安全市民運動

秋は、行楽やスポーツなどで外出する機会が増え、人や車の動きが活発になります。

また、秋の日はつるべ落としといわれるように、日没時刻が日増しに早くなることから、運転者にとっては歩行者・自転車が見えにくくなります。さらに、夕暮れ時は交通量が増えることもあり、高齢者を始めとした交通弱者が交通事故にあう危険性が高まります。

今年、蒲郡市内では、5月と7月に交通事故による犠牲者が出ています。このうち5月の事故は、高齢者が道路を横断歩行中に車と衝突したものです。本運動では、「子どもと高齢者を交通事故から守ろう」を運動の基本として、市民一人ひとりが交通安全意識をもつて、歩行者、自転車の交通事故の防止をはかりましょう。

ライト・オン運動

(夕暮れ時の前照灯早め点灯運動)

運転者の視認性の向上を図り、歩行者・自転車や対向車に自車の存在をいち早く知らせるために、早めにライトを点灯しましょう。

また、歩行者・自転車の方は反射材を活用して、自動車の運転手に自分の存在をアピールしましょう。



高齢者交通安全週間

9月14日(水)～9月20日(火)

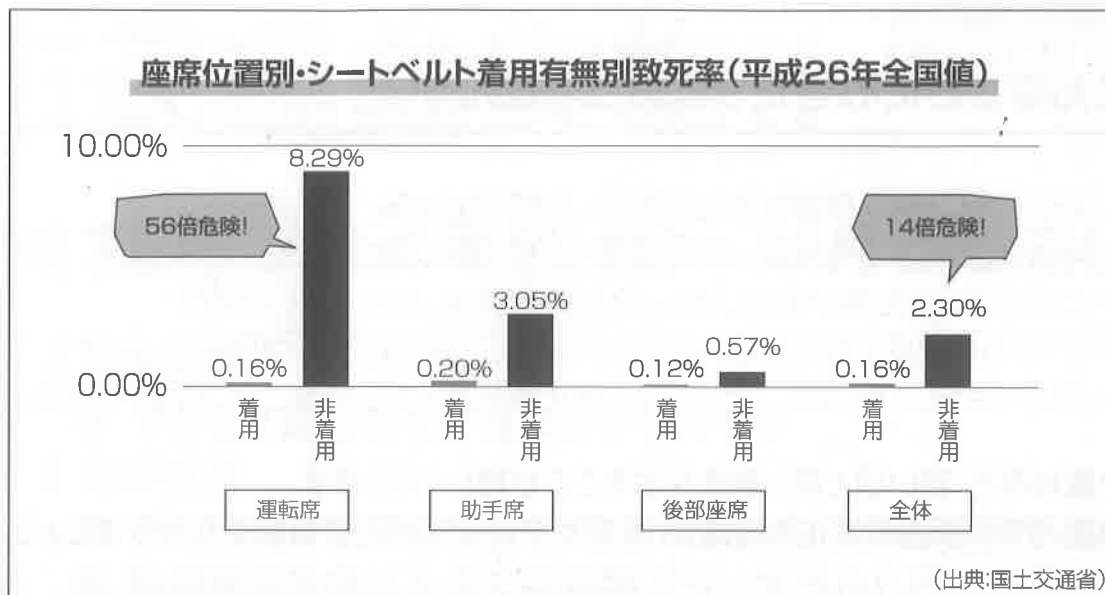
高齢者とその周囲の方の交通安全意識を高めるとともに、運転者に交通法規の遵守と高齢者への思いやり意識の浸透を図る取り組みを行います。



全ての席でシートベルトを必ず締めましょう!!

① シートベルト着用時と非着用時でこんなに違う!

シートベルトを着用せずに交通事故に遭ってしまうと、どの席に座っていても致死率が高くなります。



② 後部座席でのシートベルト非着用の危険性!

① 車内で全身を強打

事故の衝撃で、前席や天井、ドア等にたたきつけられ、大変な被害を受けます。

② 車外放出の危険も

衝突の勢いが激しい場合、後ろの席から放り出される危険性があります。

3つの危険

③ 前席の人にも被害が

衝突の勢いで後ろの席の人が前方に投げ出されると、前の席の人はシートとエアバックにはさまれ、頭に大けがをしたり、命を奪われたりする危険性があります。



高齢者の交通事故が続いています!

愛知県における平成27年の交通事故死者数は213人で、このうち65歳以上の高齢者が122人であり、全体の57.3%を占めています。

一般的に、高齢になると、体力だけでなく情報を処理する能力も低下し、交通事故に巻き込まれやすくなります。また、経験豊富なゆえに過去の経験にとらわれすぎることも事故に遭いやすい要因の1つです。

■ こんなことに心当たりはありませんか?

- 若いころに比べ、横断歩道を渡るのに時間がかかる
- 車はまだ遠くにいると思ったのに、あっという間に近づいてきてしまった
- この道はいつも車が来ないから、左右の確認はしなくていいだろう
- しっかり前を見て運転していたつもりなのに、歩行者が急に視界に入ってきた
- ブレーキをしっかりと踏んだつもりが、停止線を越えて歩行者とぶつかる場所だった

年を重ねると、若い頃と同じ動きをすることが難しくなります。

運動能力や判断力の変化を自覚し、無理せず安全な歩行や運転を心がけましょう。

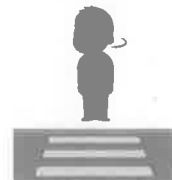
交通事故防止の「まみむめも」

交通事故防止のための5つのポイント「まみむめも」を常に心がけ、交通事故から身を守るようにしましょう。

● — 待つ(待つことは安全の基本)



● — 見る(よく見ることも安全の基本)



● — 無理しない(交差点では無理をせず止まる)

● — 目立つ(反射用品を着用して目立つ)



● — もしかして!?(危険予測をする)